

# 平成22年3月期 第1四半期連結決算概要

平成21年 7月 31日  
三井化学株式会社

## 1. 連結の範囲

(単位：社)

	平成21年 3月末	平成21年 6月末	増 減	平成22年3月期業績予想 (7/31発表値)	
				平成21年 3月末	2 Q
連結子会社数	66	65	△ 1	66	63
持分法適用会社数	32	31	△ 1	32	29
合 計	98	96	△ 2	98	92

## 2. 損益状況

(単位：億円)

	平成21年3月期 第1四半期	平成22年3月期 第1四半期	増 減	平成22年3月期業績予想 (7/31発表値)	
				平成21年 3月期実績	2 Q累計
売上高	4,539	2,606	△1,933	14,876	11,700
営業利益	207	△ 135	△ 342	△ 455	△ 230
経常利益	250	△ 140	△ 390	△ 508	△ 320
四半期(当期)純利益	152	△ 164	△ 316	△ 952	△ 450

### ・主要指標

為替レート	円/US\$	105	97	△ 8	101	96	96
国産ナフサ価格	円/KL	70,900	33,000	△37,900	58,930	37,500	38,000
						7~9月予想 42,000	10~3月予想 38,000

### ・特別損益主要内訳

	平成21年3月期 第1四半期	平成22年3月期 第1四半期	増 減	平成22年3月期業績予想 (7/31発表値)	
資産売却益	1	-	△ 1	24	-
固定資産処分・売却損	△ 4	△ 6	△ 2	△ 71	△ 40
減損損失	-	-	-	△ 39	-
関連事業損失等	△ 1	△ 3	△ 2	△ 27	△ 3
環境対策費用	-	-	-	△ 14	-
投資有価証券評価損	-	△ 17	△ 17	△ 19	△ 17
合 計	△ 4	△ 26	△ 22	△ 146	△ 60

## 3. セグメント別 売上高・営業利益 (増減内訳は4.を参照)

(単位：億円)

	平成21年3月期 第1四半期	平成22年3月期 第1四半期	増 減	平成22年3月期業績予想 (7/31発表値)		
				平成21年 3月期実績	2 Q累計	通期
機能材料	売上高	1,263	801	△ 462	4,318	3,800
	営業利益	56	△ 67	△ 123	△ 160	△ 150
先端化学品	売上高	314	245	△ 69	1,187	1,200
	営業利益	38	8	△ 30	73	80
基礎化学品	売上高	2,895	1,495	△1,400	9,128	6,450
	営業利益	124	△ 70	△ 194	△ 320	△ 110
その他	売上高	67	65	△ 2	243	250
	営業利益	2	2	-	1	-
消去・全社	売上高	-	-	-	-	-
	営業利益	△ 13	△ 8	5	△ 49	△ 50
合 計	売上高	4,539	2,606	△1,933	14,876	11,700
	営業利益	207	△ 135	△ 342	△ 455	△ 230

( 参 考 )

## 4. セグメント別増減内訳 (対前年同四半期)

## ・売上高

(単位：億円)

	平成21年3月期	平成22年3月期	計	増 減	
	第1四半期	第1四半期		数量差	価格差
機 能 材 料	1,263	801	△ 462	△ 307	△ 155
先 端 化 学 品	314	245	△ 69	△ 58	△ 11
基 礎 化 学 品	2,895	1,495	△1,400	△ 451	△ 949
そ の 他	67	65	△ 2	2	△ 4
合 計	4,539	2,606	△1,933	△ 814	△1,119

## ・営業利益

(単位：億円)

	平成21年3月期	平成22年3月期	計	増 減		
	第1四半期	第1四半期		数量差	取引条件	固定費他
機 能 材 料	56	△ 67	△ 123	△ 63	△ 63	3
先 端 化 学 品	38	8	△ 30	△ 27	△ 13	10
基 礎 化 学 品	124	△ 70	△ 194	△ 112	△ 74	△ 8
そ の 他	2	2	-	△ 3	-	3
消 去 ・ 全 社	△ 13	△ 8	5	-	-	5
合 計	207	△ 135	△ 342	△ 205	△ 150	13

## 5. 貸借対照表

(単位：億円)

	資産の部			負債及び純資産の部			
	H21/3末	H21/6末	増 減	H21/3末	H21/6末	増 減	
流 動 資 産	5,296	5,230	△ 66	有利子負債	5,354	5,473	119
有 形 固 定 資 産	5,226	5,212	△ 14	そ の 他 負 債	2,554	2,540	△ 14
無 形 固 定 資 産	234	199	△ 35	自 己 資 本	3,499	3,482	△ 17
投 資 等	1,133	1,210	77	少 数 株 主 持 分	482	356	△ 126
資 産 計	11,889	11,851	△ 38	負 債 純 資 産 計	11,889	11,851	△ 38

( D/Eレシオ ) (1.53) (1.57) (0.04)

## 6. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	平成21年3月期	平成22年3月期	増 減	平成21年	平成22年3月期業績予想 (7/31発表値)	
	第1四半期	第1四半期		3月期実績	2Q累計	通期
営 業 キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	84	163	79	549	400	350
投 資 キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	△ 219	△ 184	35	△ 763	△ 350	△ 700
(フリーキャッシュ・フロー)	(△ 135)	(△ 21)	(114)	(△ 214)	(50)	(△ 350)
財 務 キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	219	61	△ 158	483	50	550
そ の 他	△ 18	14	32	△ 45	-	-
現 預 金 等 増 減	66	54	△ 12	224	100	200

## 7. 当期のトピックス

## ①プラント新增設

インド

Mitsui Prime Advanced Composites India PVT LTD

営業運転開始 (09年6月)

## ②その他

東セロ (株)

株式交換による完全子会社化 (09年4月)

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 三井化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4183 URL <http://jp.mitsuichem.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 稔一

問合せ先責任者 (役職名) CSR・広報部長

(氏名) 山崎 真

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	260,551	△42.6	△13,520	—	△14,027	—	△16,444	—
21年3月期第1四半期	453,925	—	20,691	—	25,032	—	15,233	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△21.28	—
21年3月期第1四半期	19.79	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	1,185,067	383,734	29.4	450.52
21年3月期	1,188,939	398,131	29.4	465.56

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 348,129百万円 21年3月期 349,908百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	3.00	9.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	540,000	△40.4	△27,000	—	△31,000	—	△37,000	—	△47.88
通期	1,170,000	△21.4	△23,000	—	△32,000	—	△45,000	—	△58.23

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
新規 一社 (社名 ) 除外 1社 (社名 三井化学ポリウレタン株式会社 )  
(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他(1)をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他(2)をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 792,020,076株 21年3月期 792,020,076株  
② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 19,293,519株 21年3月期 40,428,862株  
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 772,748,770株 21年3月期第1四半期 769,688,551株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1)平成21年5月11日に公表いたしました連結業績予想につきましては、平成21年7月31日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて、第2四半期連結累計期間、通期ともに業績予想の修正を行っております。
- (2)本資料に記載の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、5～6ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

#### （全般的状況）

当第1四半期（平成21年4月1日～平成21年6月30日の3か月間。以下、「当四半期」といいます。）における事業環境は、昨年秋以降の世界的な経済危機の影響による需要の落ち込みが継続するなど、引き続き厳しい状況となりました。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当四半期	2,606	△135	△140	△164
前年同四半期	4,539	207	250	152
増減額	△1,933	△342	△390	△316
増減率	△42.6%	-	-	-

**売上高**は、前年同四半期に比べ1,933億円減（42.6%減）の2,606億円となりました。これは、販売数量減少による影響が814億円、製品価格下落による影響が1,119億円あったためです。

**営業損益**は、前年同四半期に比べ342億円減の135億円の損失となりました。これはコストダウンなど緊急対策の実施効果があったものの、市況の低迷が続く中、販売数量の減少に加え、交易条件の悪化などによるものです。

**経常損益**は、前年同四半期に比べ390億円減の140億円の損失となりました。これは、持分法による投資利益の減少や為替差損の計上などにより、営業外損益が前年同四半期に比べ48億円悪化の5億円の損失となったことによるものです。

**特別損益**は、事業構造改善等の関係で固定資産処分・売却損を6億円、関連事業損失を3億円それぞれ計上したことに加え、投資有価証券評価損を17億円計上したことなどにより、前年同四半期に比べ22億円悪化の26億円の損失となりました。

以上により、**税金等調整前四半期純損益**は、前年同四半期に比べ412億円減の166億円の損失となりました。

**四半期純損益**は、法人税等及び少数株主損失を控除した結果、前年同四半期に比べ316億円減の164億円の損失となり、1株当たり四半期純損失は21.28円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

#### （機能材料）

機能材料セグメントは、エネルギー材料を除いて次の理由により、売上高はそれぞれ厳しい状況となりました。

エチレン・プロピレンゴム、 $\alpha$ -オレフィンコポリマーなどの**自動車・産業材**は、アジア市場を中心に新規顧客の開拓を進めたものの、昨年秋以降の自動車市場の需要減速が継続しました。

**工業材料**は、自動車、家電及び住宅設備市場の需要減速が継続しました。

**衛生材料**は、不織布の一部顧客が在庫調整を行ったことによる需要減と原料価格下落に伴う価格低下の影響を受けました。

**特殊ポリオレフィン及びエンジニアリングプラスチック**は、電子情報関連用途を中心とした需要減速が継続しました。

**半導体材料**は、半導体市場及び液晶市場における需要減速が継続しました。

**エネルギー材料**は、太陽電池封止材市場の一時的な需要鈍化の影響により、売上高は伸び悩みました。

**ポリウレタン**は、ウレタン樹脂及びウレタン原料の需要低迷やTD I及びMD Iの海外市況悪化などの影響を受けました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ462億円減の801億円、売上高全体に占める割合は31%となりました。また、営業損益は、コストダウン努力を進めたものの、販売数量の減少や市況の悪化などの影響により、123億円減の67億円の損失となりました。

#### (先端化学品)

先端化学品セグメントは、次の理由により、売上高はそれぞれ厳しい状況となりました。

**眼鏡レンズ用材料**や、メディカル材料などの**ヘルスケア材料**は、昨年秋以降の景気後退に伴う消費低迷が継続しました。

重合抑制剤、タイヤ・木材向け接着剤原料などの**化成品**は、需要減速と価格低下が継続しました。

**農業化学品**は、殺虫剤などの販売数量が伸び悩みました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ69億円減の245億円、売上高全体に占める割合は9%となりました。また、営業利益は、コストダウンに努めたものの、消費低迷や需要減速による売上高の減少をカバーすることができず、30億円減の8億円となりました。

#### (基礎化学品)

基礎化学品セグメントは、次の理由により、売上高はそれぞれ厳しい状況となりました。

**エチレン及びプロピレン**は、誘導品の需要低迷を背景に生産調整を実施したこと及び本年6月下旬から市原工場にて定期修理を実施したことにより、生産量はいずれも減少しました。

**フェノール**は、需要の落ち込み及び原燃料価格下落に伴う販売価格下落の影響を受けました。

**ビスフェノールA**は、主要用途であるポリカーボネート樹脂及びエポキシ樹脂の需要落ち込みを受けた生産調整の実施に加え、原燃料価格下落に伴う販売価格下落の影響を受けました。

**高純度テレフタル酸**は、販売数量が前年同四半期並みであったものの、原燃料価格下落に伴う販売価格下落の影響を受けました。

**ペット樹脂（ポリエチレン テレフタレート）**は、国内向けペットボトルの需要低迷の影響を受けました。

**エチレングリコール、エチレンオキサイド及びその誘導品**は、原燃料価格下落に伴う販売価格下落の影響を受けました。

**ポリエチレン及びポリプロピレン**は、需要低迷及び原燃料価格下落に伴う販売価格下落の影響を受けました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ1,400億円減の1,495億円、売上高全体に占める割合は57%となりました。また、営業損益は、需要低迷による販売数量の減少などの影響を受けて、194億円減の70億円の損失となりました。

#### (その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ2億円減の65億円、売上高全体に占める割合は3%となりました。一方、営業利益は前年同四半期と同額の2億円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債、純資産の状況

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ38億円減の1兆1,851億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ105億円増の8,013億円となり、そのうち、**有利子負債**は119億円増の5,473億円となりました。この結果、有利子負債比率は前期末に比べ1.2ポイント上昇の46.2%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ143億円減の3,838億円となり、**自己資本比率**は前期末と同じく29.4%となりました。なお、平成21年4月1日をもって、当社は保有している自己株式の交付による株式交換により、東セロ株式会社を当社の完全子会社としております。この結果、自己株式が156億円、少数株主持分が98億円それぞれ減少し、株式交換による自己株式処分差損84億円を利益剰余金に計上しております。

以上により、当四半期末の**有利子負債／自己資本比率（D／Eレシオ）**は、前期末に比べ0.04

ポイント増の 1.57 となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当四半期の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、54 億円増加し、当四半期末には 533 億円となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ 79 億円増の 163 億円となりました。前年同四半期と比べて増加したのは、税金等調整前四半期純損失を計上したものの、在庫削減など緊急対策の実施による運転資金の削減効果及び法人税等の支払額の減少があったことなどによるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ 35 億円減の 184 億円となりました。前年同四半期と比べて減少したのは、投資案件の厳選に伴う固定資産の取得による支出が減少したことなどによるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によって調達された資金は、61 億円となりました。これは、有利子負債の調達を行ったことなどによるものです。なお、前年同四半期において財務活動により調達された資金は 219 億円でした。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

### (1) 業績の見通し

平成 21 年 5 月 11 日に公表いたしました連結業績予想につきましては、平成 21 年 7 月 31 日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて、以下のとおり第 2 四半期連結累計期間、通期ともに業績予想の修正を行っております。

第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、引き続き厳しい経済環境下ではあるものの、機能材料部門における自動車・電子情報関連事業の増販及びウレタン事業の交易条件の改善等並びに基礎化学品部門におけるポリオレフィン事業の増販及び合繊原料事業の交易条件の改善等により、営業利益、経常利益及び四半期純利益は、前回発表予想数値から改善する見込みです。

また、通期の業績につきましては、第 2 四半期連結累計期間の業績は改善するものの、第 3 四半期及び第 4 四半期の連結業績が現段階では不透明であることから、第 2 四半期連結累計期間の改善額を通期の改善額としております。

なお、平成 21 年 5 月 12 日に、緊急対策の一つとして、徹底的なコストダウンによる収益構造改善策についてお知らせ致しておりますが、現在、着実に実施しており、引き続き目標達成に向けて努めてまいります。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第 2 四半期連結累計期間	5,400	△270	△310	△370
通期	11,700	△230	△320	△450

上記の前提として、為替レートは通期 96 円/\$、国産ナフサ価格は通期 38,000 円/k1（4～6 月 33,000 円/k1、7～9 月 42,000 円/k1、10～3 月 38,000 円/k1）としております。

(2) セグメント別の見通し

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売 上 高					
	機能材料	先端化学品	基礎化学品	その他	消去・全社	合 計
第2四半期連結累計期間	1,700	500	3,100	100	—	5,400
通期	3,800	1,200	6,450	250	—	11,700

(単位：億円)

	営 業 利 益					
	機能材料	先端化学品	基礎化学品	その他	消去・全社	合 計
第2四半期連結累計期間	△120	20	△150	—	△20	△270
通期	△150	80	△110	—	△50	△230

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社（特定子会社）であった三井化学ポリウレタン株式会社は当社との合併により子会社でなくなったため、連結の範囲から除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。



5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,889	48,448
受取手形及び売掛金	194,803	174,845
たな卸資産	217,291	250,654
繰延税金資産	5,461	5,310
その他	58,865	50,643
貸倒引当金	△285	△294
流動資産合計	523,024	529,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	310,916	308,596
減価償却累計額	△190,893	△188,435
建物及び構築物（純額）	120,023	120,161
機械装置及び運搬具	1,042,601	1,032,974
減価償却累計額	△852,734	△840,912
機械装置及び運搬具（純額）	189,867	192,062
土地	170,004	169,822
建設仮勘定	31,344	30,277
その他	60,731	60,400
減価償却累計額	△50,812	△50,081
その他（純額）	9,919	10,319
有形固定資産合計	521,157	522,641
無形固定資産	19,866	23,400
投資その他の資産		
投資有価証券	98,998	91,034
長期貸付金	1,750	1,763
繰延税金資産	4,657	4,992
その他	17,758	17,346
貸倒引当金	△2,143	△1,843
投資その他の資産合計	121,020	113,292
固定資産合計	662,043	659,333
資産合計	1,185,067	1,188,939

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	104,195	98,394
短期借入金	131,477	149,304
1年内返済予定の長期借入金	16,495	15,916
コマーシャル・ペーパー	36,200	14,200
1年内償還予定の社債	20,022	12,022
未払法人税等	3,046	2,930
役員賞与引当金	9	49
修繕引当金	12,302	12,433
その他	61,502	72,610
流動負債合計	385,248	377,858
固定負債		
社債	141,011	141,011
長期借入金	201,702	202,611
繰延税金負債	11,616	9,135
退職給付引当金	34,173	33,373
役員退職慰労引当金	319	443
修繕引当金	3,532	2,658
環境対策引当金	11,900	11,948
その他	11,832	11,771
固定負債合計	416,085	412,950
負債合計	801,333	790,808
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	103,226	103,226
資本剰余金	69,238	69,238
利益剰余金	194,572	221,721
自己株式	△14,192	△29,827
株主資本合計	352,844	364,358
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,343	7,319
繰延ヘッジ損益	0	△3
為替換算調整勘定	△17,058	△21,766
評価・換算差額等合計	△4,715	△14,450
少数株主持分	35,605	48,223
純資産合計	383,734	398,131
負債純資産合計	1,185,067	1,188,939

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	453,925	260,551
売上原価	384,227	232,114
売上総利益	69,698	28,437
販売費及び一般管理費	49,007	41,957
営業利益又は営業損失(△)	20,691	△13,520
営業外収益		
受取利息	105	68
受取配当金	1,262	886
受取賃貸料	219	176
持分法による投資利益	1,487	952
為替差益	3,895	—
その他	1,188	1,022
営業外収益合計	8,156	3,104
営業外費用		
支払利息	2,062	2,222
コマーシャル・ペーパー利息	139	15
その他	1,614	1,374
営業外費用合計	3,815	3,611
経常利益又は経常損失(△)	25,032	△14,027
特別利益		
固定資産売却益	82	15
投資有価証券売却益	11	—
特別利益合計	93	15
特別損失		
固定資産処分損	285	525
固定資産売却損	80	18
減損損失	—	32
関連事業損失	100	338
投資有価証券評価損	—	1,689
その他	22	—
特別損失合計	487	2,602
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	24,638	△16,614
法人税等	8,143	1,922
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,262	△2,092
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,233	△16,444

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	24,638	△16,614
減価償却費	17,851	16,155
のれん償却額	1,022	1,244
減損損失	—	32
貸倒引当金の増減額(△は減少)	36	284
修繕引当金の増減額(△は減少)	3,046	743
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	—
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△236	△48
受取利息及び受取配当金	△1,367	△954
支払利息	2,062	2,222
持分法による投資損益(△は益)	△1,487	△952
投資有価証券売却損益(△は益)	△63	△32
投資有価証券評価損益(△は益)	22	1,689
有形固定資産除却損	183	241
固定資産売却損益(△は益)	△2	3
売上債権の増減額(△は増加)	△14,121	△18,152
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,006	35,628
仕入債務の増減額(△は減少)	△707	3,735
その他	△4,506	△6,097
小計	22,370	19,127
利息及び配当金の受取額	2,295	2,383
利息の支払額	△2,263	△2,158
法人税等の支払額	△14,021	△3,082
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,381	16,270
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,599	△14,718
有形固定資産の売却による収入	221	129
無形固定資産の取得による支出	△622	△682
長期前払費用の取得による支出	△513	△80
投資有価証券の取得による支出	△1,403	△3,330
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,044	2,315
子会社株式の取得による支出	—	△1,005
その他	1,011	△1,045
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,861	△18,416

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,499	△19,534
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	10,500	22,000
長期借入れによる収入	22,551	625
長期借入金の返済による支出	△3,077	△2,239
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	△10,000	△2,000
自己株式の売却による収入	31	8
自己株式の取得による支出	△75	△31
配当金の支払額	△4,618	△2,254
少数株主への配当金の支払額	△938	△515
持分法適用会社からの預り金増減額 (△は減少)	△1,000	—
その他	17	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,890	6,055
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,861	1,054
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,549	4,963
現金及び現金同等物の期首残高	25,502	47,949
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	81	369
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,132	53,281

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	機能材料 (百万円)	先端化学品 (百万円)	基礎化学品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	126,318	31,400	289,551	6,656	453,925	—	453,925
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,814	786	40,162	20,515	66,277	(66,277)	—
計	131,132	32,186	329,713	27,171	520,202	(66,277)	453,925
営業利益	5,565	3,764	12,433	220	21,982	(1,291)	20,691

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	機能材料 (百万円)	先端化学品 (百万円)	基礎化学品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	80,089	24,508	149,458	6,496	260,551	—	260,551
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,871	640	15,386	△ 1,296	17,601	(17,601)	—
計	82,960	25,148	164,844	5,200	278,152	(17,601)	260,551
営業利益又は営業損失(△)	△ 6,728	790	△ 7,002	192	△ 12,748	(772)	△ 13,520

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分をベースに、製品の種類及び製造方法の類似性等を勘案して4つに区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主 要 製 品
機能材料	自動車・産業材、生活・エネルギー材、電子・情報材、 ポリウレタン材料、コーティング・機能材
先端化学品	精密化学品、農業化学品
基礎化学品	基礎原料、フェノール、合繊原料・ペット樹脂、工業薬品、ポリエチレン、 ポリプロピレン
その他	その他関連事業等

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	374,253	54,413	25,259	453,925	—	453,925
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,091	17,542	208	34,841	(34,841)	—
計	391,344	71,955	25,467	488,766	(34,841)	453,925
営業利益	18,339	1,492	812	20,643	48	20,691

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	222,595	24,863	13,093	260,551	—	260,551
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,211	12,734	175	25,120	(25,120)	—
計	234,806	37,597	13,268	285,671	(25,120)	260,551
営業利益又は営業損失(△)	△12,958	151	△ 747	△13,554	34	△13,520

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2. 日本以外の各区分に属する主な国又は地域  
 (1) アジア……中国、台湾、韓国、タイ、シンガポール  
 (2) その他……北米、欧州

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他の地域	計
I. 海外売上高（百万円）	128,977	19,501	15,486	3,463	167,427
II. 連結売上高（百万円）					453,925
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	28.4	4.3	3.4	0.8	36.9

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他の地域	計
I. 海外売上高（百万円）	76,325	10,501	8,419	1,368	96,613
II. 連結売上高（百万円）					260,551
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	29.3	4.0	3.3	0.5	37.1

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

（1）アジア……………中国、台湾、韓国、タイ、シンガポール

（2）アメリカ……………米国、メキシコ

（3）ヨーロッパ……………ドイツ、フランス

（4）その他……………オセアニア地域、アフリカ地域

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。